

サンプル 御中



BIZUP 発展会計 月次レポート

2020年08月

税理士法人サポートリンク

- 01 業績関連分析
 - (1) 損益の傾向 総括
 - (2) 月次損益推移表（要約変動損益）
 - (3) 月別売上高 3期比較表
 - (4) 月別限界利益 3期比較表
 - (5) 月別人件費 3期比較表
 - (6) 月別その他固定費 3期比較表
 - (7) 移動年計

- 02 経営安全率分析
 - (1) 総括
 - (2) 損益分岐点分析
 - (3) 目標利益別必要売上シミュレーション

- 03 資金関連分析
 - (1) 利益の行方総括
 - (2) キャッシュフロー計算書分析
 - (参考) 資金不足解消のための取組みテーマ

- 04 経営指標分析
 - (1) 総括
 - (2) 収益性分析
 - (3) 生産性分析
 - (4) 安全性分析

(決算仕訳を含む)

今期は、前期と比較すると **減収減益** です。

①売上高は、 **17,822千円** 減少しています。

⑤営業利益は、 **2,527千円** 減少しています。

②変動費は、 **3,892千円** 減少しています。

⑥営業外収益は、 **15千円** 減少しています。

③限界利益は、 **13,930千円** 減少しています。

⑦営業外費用は、 **11千円** 減少しています。

④固定費は、 **11,403千円** 減少しています。

⑧経常利益は、 **2,531千円** 減少しています。

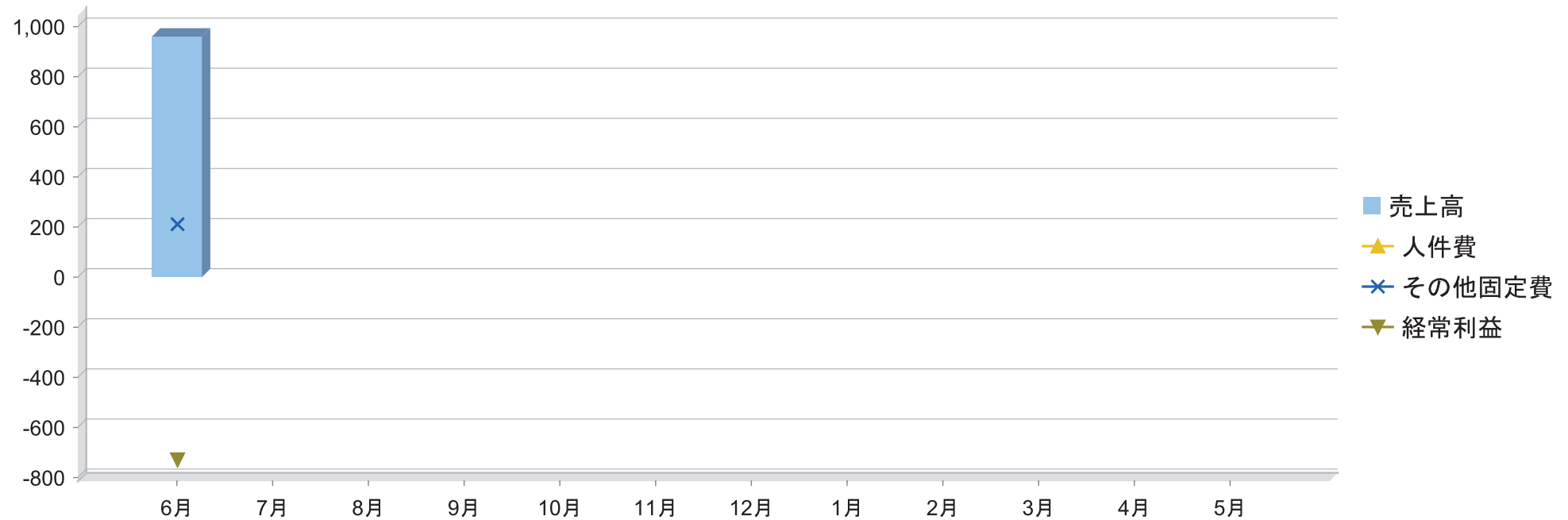
人件費は、 **5,434千円** 減少しています。

その他固定費は、 **5,970千円** 減少しています。

(2) 月次損益推移表 (要約変動損益)

サンプル

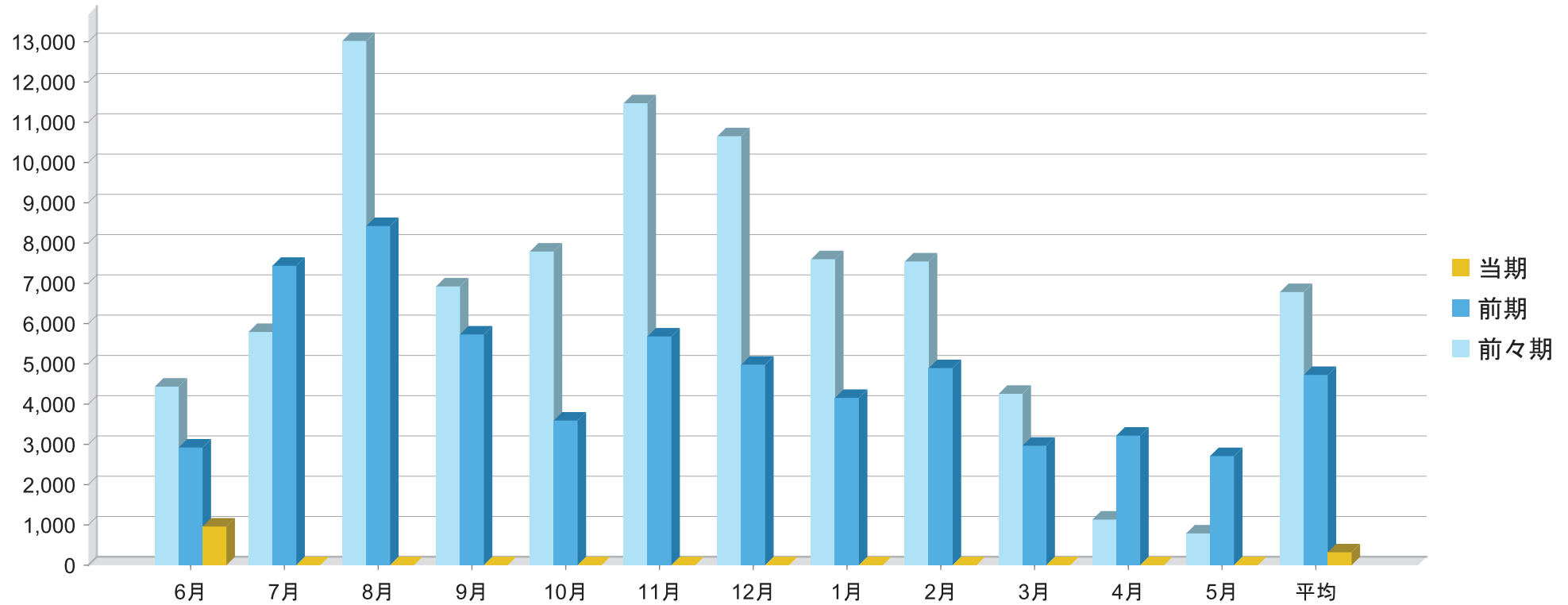
2020年08月



(決算仕訳を含む) (単位：千円)

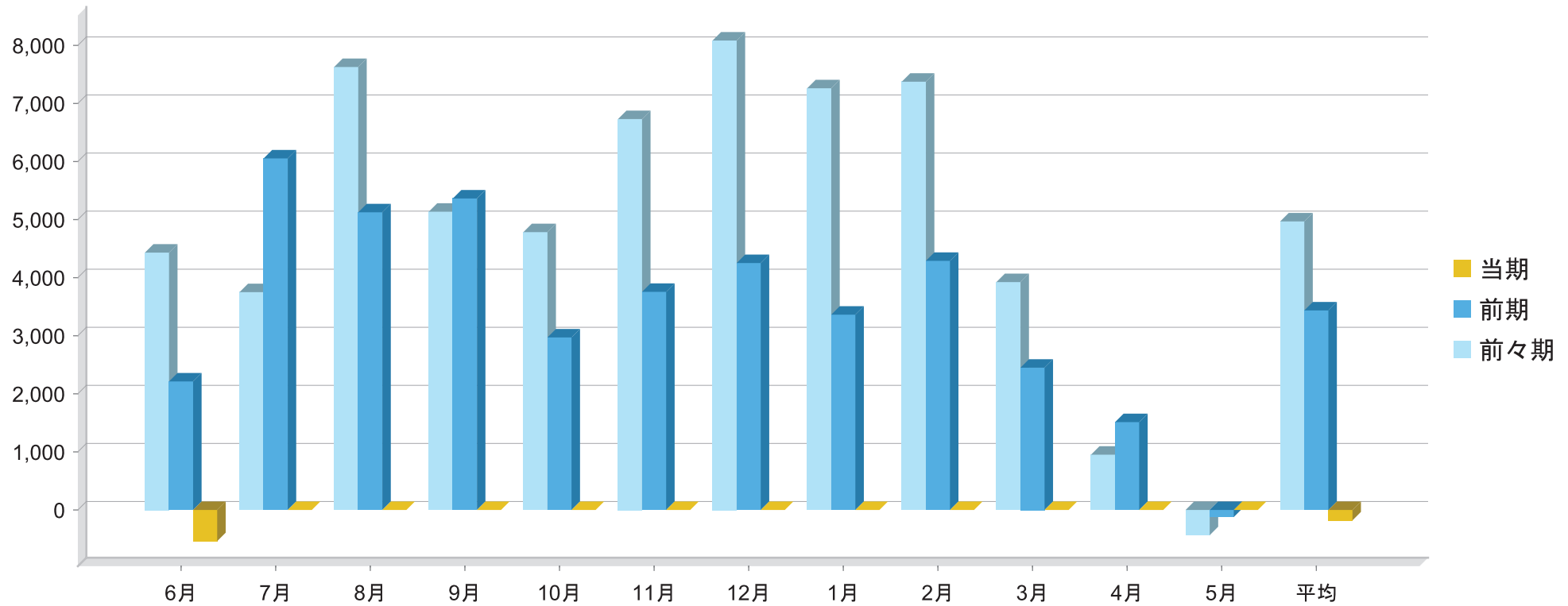
名称	前々期 月平均	前期 月平均	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	平均	合計
売上高	6,784	4,726	960	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	320	960
変動費	1,816	1,290	1,497	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	499	1,497
限界利益	4,969	3,436	-537	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-179	-537
(限界利益率)	73.2%	72.7%	-56.0%	0.0%	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-56.0%	-56.0%
人件費	2,090	1,941	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0
その他固定費	2,289	2,200	193	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	64	193
経常利益	590	-705	-730	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-243	-730

※その他固定費に営業外損益が含まれていますので、「限界利益－固定費＝経常利益」となります。



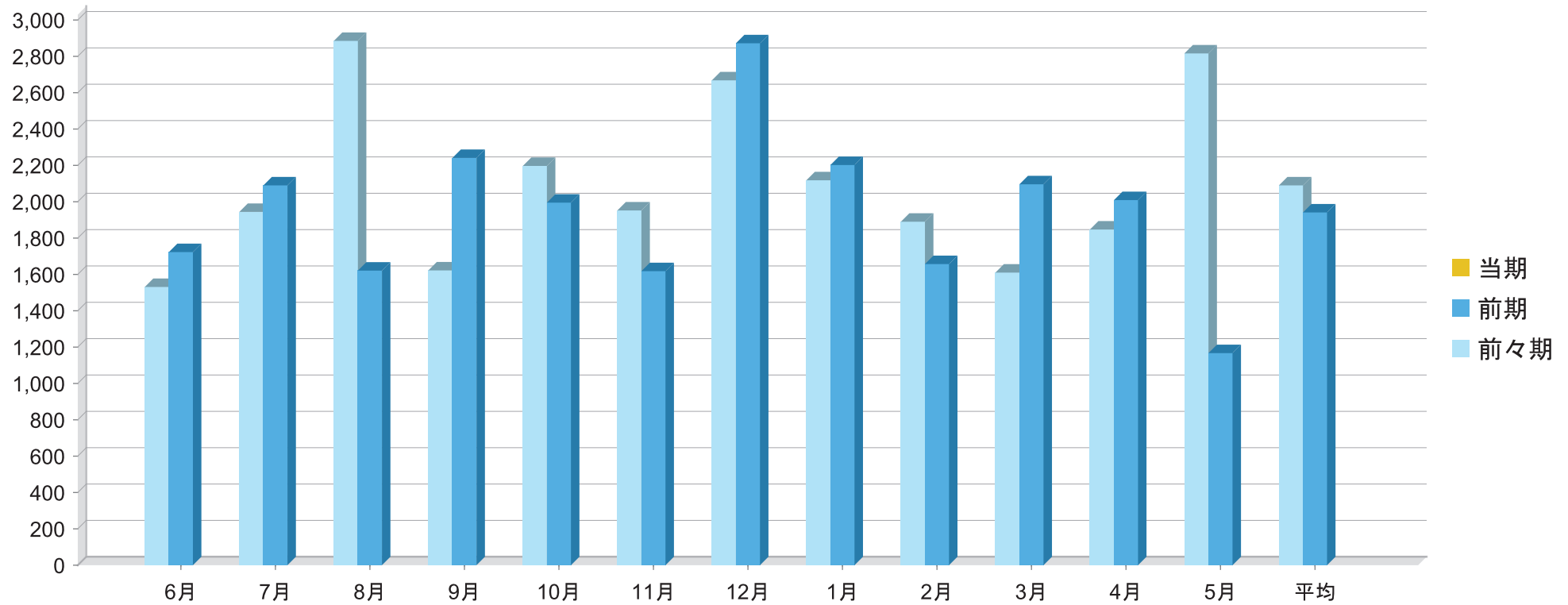
(決算仕訳を含む) (単位：千円)

名称	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	平均	合計
当期	960	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	320	960
前期	2,922	7,436	8,424	5,730	3,593	5,681	4,981	4,156	4,895	2,967	3,218	2,710	4,726	56,713
前期対比	32.9%	0.0%	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.8%	1.7%
前々期	4,435	5,793	13,021	6,924	7,790	11,473	10,654	7,600	7,544	4,257	1,133	789	6,784	81,412
前々期対比	21.6%	0.0%	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.7%	1.2%



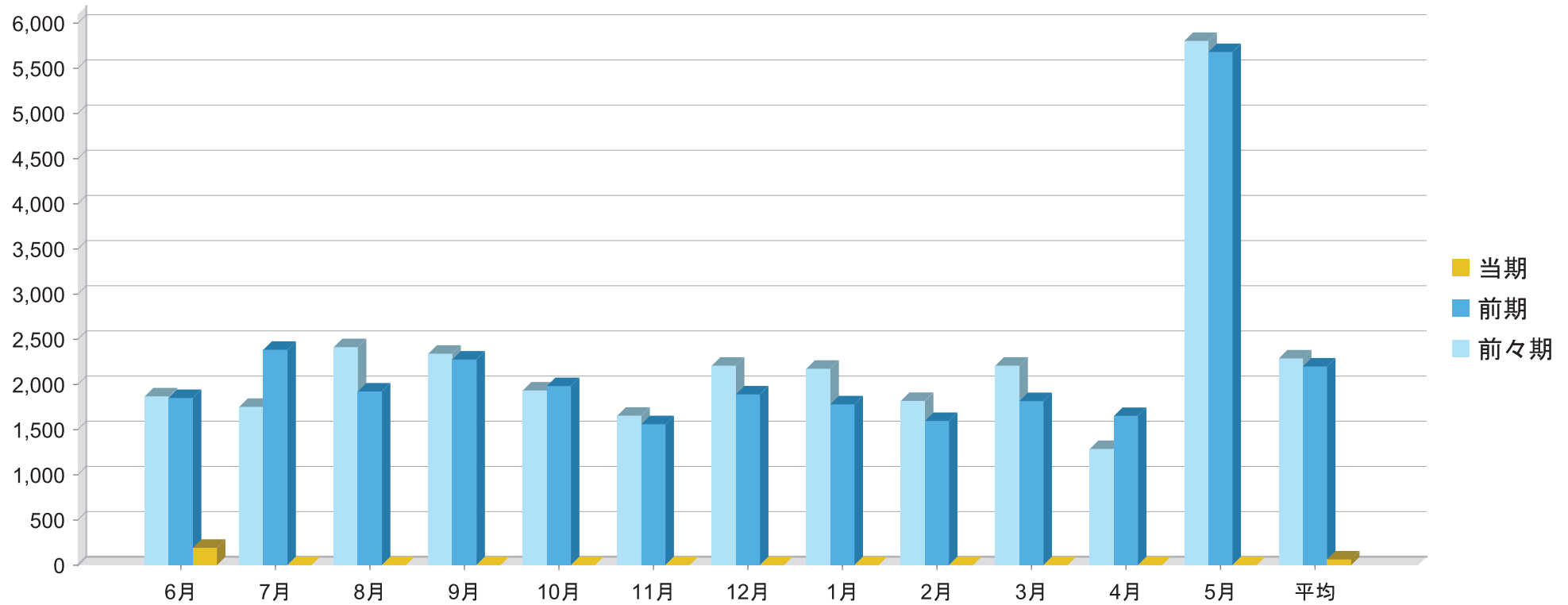
(決算仕訳を含む) (単位：千円)

名称	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	平均	合計
当期	-537	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-179	-537
前期	2,213	6,054	5,126	5,364	2,971	3,756	4,252	3,363	4,290	2,450	1,513	-122	3,436	41,229
前期対比	-24.3%	0.0%	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-5.2%	-1.3%
前々期	4,432	3,751	7,628	5,136	4,784	6,731	8,084	7,262	7,375	3,924	952	-434	4,969	59,625
前々期対比	-12.1%	0.0%	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-3.6%	-0.9%



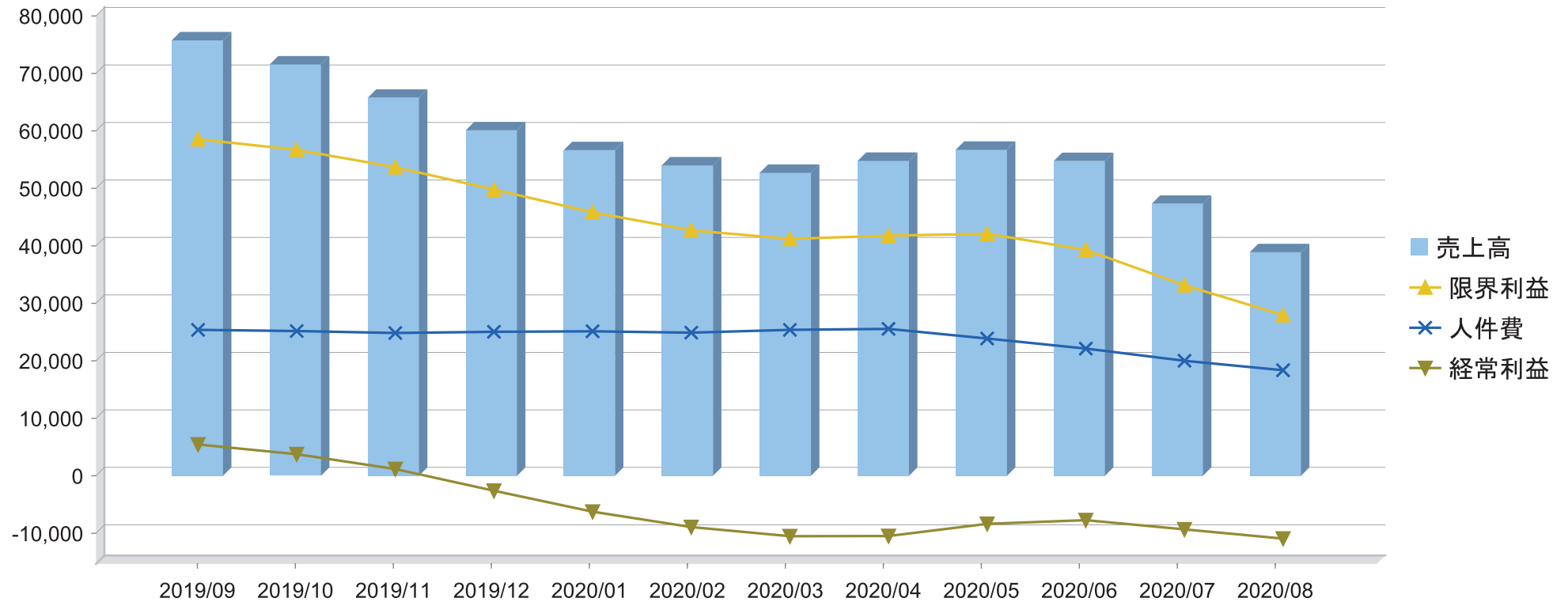
(決算仕訳を含む) (単位: 千円)

名称	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	平均	合計
当期	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0
前期	1,723	2,090	1,621	2,241	1,995	1,618	2,872	2,202	1,657	2,096	2,009	1,167	1,941	23,290
前期対比	0.0%	0.0%	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0%	0.0%
前々期	1,531	1,944	2,885	1,622	2,197	1,952	2,668	2,118	1,890	1,610	1,847	2,816	2,090	25,079
前々期対比	0.0%	0.0%	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0%	0.0%



(決算仕訳を含む) (単位：千円)

名称	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	平均	合計
当期	193	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	64	193
前期	1,851	2,385	1,923	2,277	1,983	1,561	1,891	1,781	1,597	1,817	1,652	5,681	2,200	26,398
前期対比	10.4%	0.0%	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.9%	0.7%
前々期	1,869	1,753	2,414	2,341	1,934	1,655	2,209	2,175	1,819	2,209	1,287	5,804	2,289	27,468
前々期対比	10.3%	0.0%	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.8%	0.7%



(決算仕訳を含む) (単位: 千円)

名称	201909	201910	201911	201912	202001	202002	202003	202004	202005	202006	202007	202008	平均	合計
売上高	75,751	71,554	65,762	60,090	56,646	53,997	52,707	54,792	56,713	54,751	47,315	38,891	57,414	688,969
限界利益	57,434	55,621	52,646	48,814	44,915	41,830	40,356	40,917	41,229	38,479	32,425	27,299	43,497	521,965
人件費	24,772	24,570	24,236	24,441	24,525	24,291	24,777	24,939	23,290	21,567	19,477	17,856	23,228	278,742
経常利益	5,135	3,475	928	-2,791	-6,380	-9,010	-10,578	-10,544	-8,459	-7,828	-9,407	-10,990	-5,537	-66,449

注：年計表は一年間の推移を表し、移動年計することによって、季節変動を消して、傾向を把握することができます。

(決算仕訳を含む)

経営安全率は、前期の **134%** から、当期は、 **135%** となりました。

損益分岐点は、前期の **16,263千円** から、当期は、 **-345千円** となりました。

当期利益実績は、前期実績を **2,531千円** 下回っています。

この要因として、以下の項目が挙げられます。

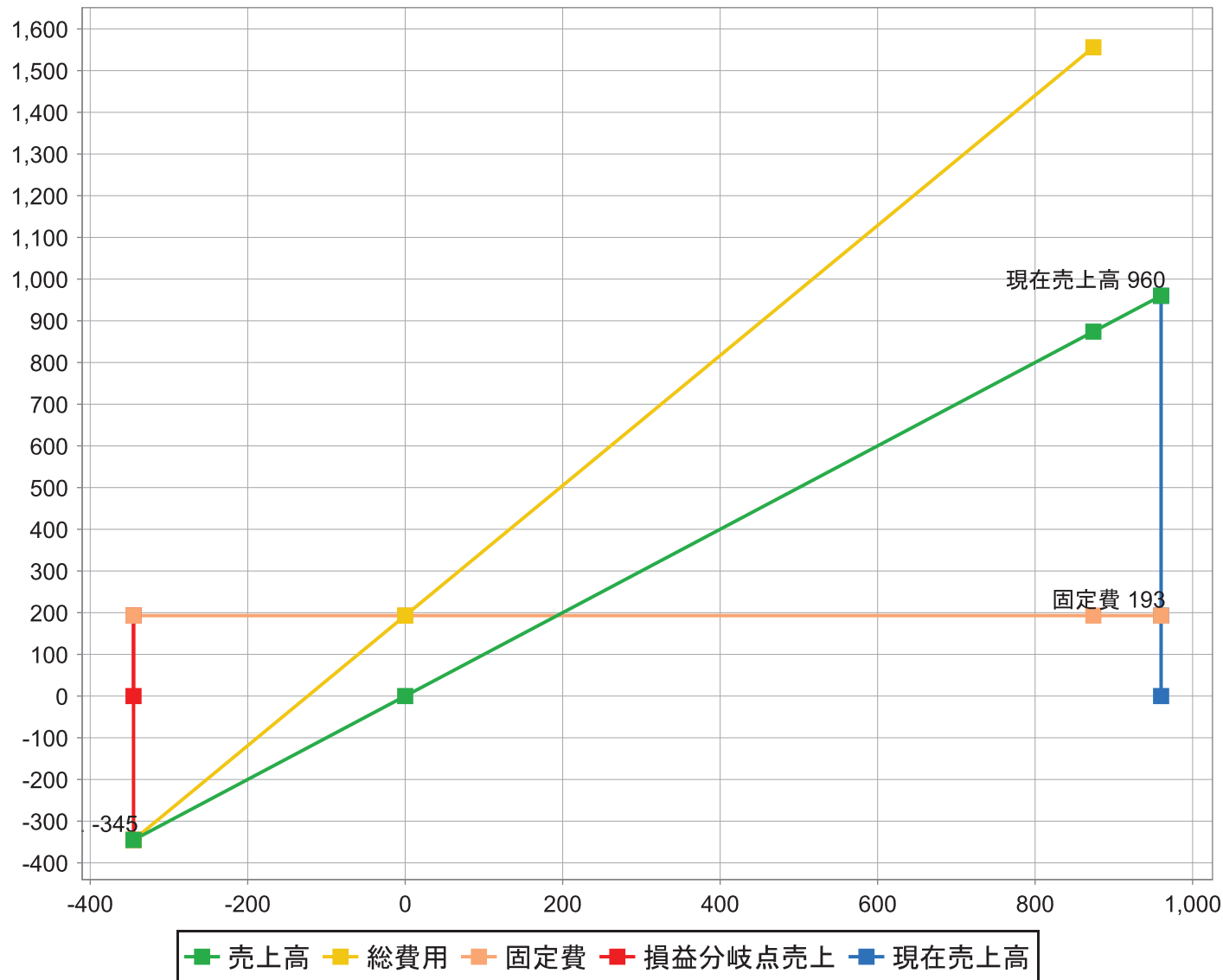
①売上高は **960千円** で、前期より **17,822千円** 減少しています。

②限界利益は **-53千円** で、前期より **13,980千円** 減少しています。

限界利益率は **-56%** で、前期より **127.3** ポイント低下しています。

③固定費は **193千円** で、前期より **11,400千円** 減少しています。

※固定費は、人件費+その他固定費-営業外損益



実績値 (決算仕訳を含む)

項目	実績値
売上高	960
変動費	1,497
(変動比率)	156.0%
限界利益	-537
(限界利益率)	-56.0%
固定費 ①	193
営業外収益 ②	0
営業外費用 ③	0
(①-②+③)	193
経常利益	-730
損益分岐点売上	-345
損益分岐点比率 (%)	-35.9%
経営安全率 (%)	135.9%
経営余裕売上高	1,305

(単位：千円)

① 目標利益獲得に必要な売上高算出方法

目標利益を得るために必要となる売上高は、固定費と目標利益を加算した額を限界利益率で除すことによって求められます。

$$\text{必要売上高} = \frac{\text{固定費} + \text{目標利益}}{\text{限界利益率}}$$

※固定費 = 人件費 + その他固定費 - 営業外損益

損益分岐点売上 -345 千円

費 目	金額 (千円)	対売上比 (%)
売 上 高	980	1000%
変 動 費	1,497	1560%
限 界 利 益	-537	-560%
人 件 費	0	00%
その他固定費	198	201%
営業外収益	0	00%
営業外費用	0	00%
経 常 利 益	-730	-761%

② 目標利益獲得のための必要売上シミュレーション

(イ) 利 益 千円を獲得する為の必要売上

(単位：千円)

	固定費	必要売上高	必要増収額
固定費 (現状のまま推移)	827		
固定費 5%アップ	868		
固定費 10%アップ	910		
固定費 5%ダウン	786		
固定費 10%ダウン	745		

※固定費 (現状のまま推移) は、前年の年間実績に、当月までの前年対比を乗じて、当期の固定費推計を計算しています。

(ロ) 利 益 千円を獲得する為の必要売上

(単位：千円)

	固定費	必要売上高	必要増収額
固定費 (現状のまま推移)	827		
固定費 5%アップ	868		
固定費 10%アップ	910		
固定費 5%ダウン	786		
固定費 10%ダウン	745		

(決算仕訳を含む)

(1) 当月までの当期純利益（税引後）は **-438千円** です。①総資産は、 **7,974千円** 増加しています。②流動資産は、 **9,415千円** 増加しています。売掛債権は、 **12,742千円** 減少しています。在庫は、 **0千円** 変動ありません。その他流動資産は、 **-3,328千円** 減少しています。③固定資産は、 **1,441千円** 減少しています。有形固定資産は、 **1,441千円** 減少しています。無形固定資産は、 **0千円** 変動ありません。投資その他の資産は、 **0千円** 変動ありません。④流動負債は、 **48千円** 減少しています。買掛債務は、 **22千円** 増加しています。短期借入金は、 **25千円** 減少しています。その他流動負債は、 **-436千円** 減少しています。⑤固定負債は、 **19,084千円** 増加しています。⑥負債合計は、 **19,036千円** 増加しています。(2) 年間確保資金は **-1,753千円** です。

年間確保資金 = 税引前当期純利益（年間予測）× (1 - 40%) + 減価償却費（経過月実績 ÷ 経過月数 × 12ヶ月）

年間減価償却費 千円

キャッシュフロー計算書は、資金の流れをフローとストックの両面から見るもので、資金を「営業活動」「投資活動」「財務活動」の3つの企業活動で捉えています。

(決算仕訳を含む) (単位：千円)

I. 営業活動によるキャッシュフロー	
	累 計
税引前当期純利益	-730
減価償却費	0
貸倒引当金の増加額	0
退職給付引当金の増加額	0
受取利息配当金	0
支払利息	0
売上債権増加(減少)額	667
棚卸資産増加(減少)額	0
仕入債務増加(減少)額	1,237
その他流動資産増加(減少)額	0
その他流動負債増加(減少)額	0
割引手形の増加(減少)額	0
その他増減額	-39
小 計	1,134
利息及び配当金の受取額	0
利息の支払額	0
法人税の支払額	0
その他営業活動による増減額	0
営業キャッシュフロー①	1,134

主たる営業活動により獲得した資金を示します。

II. 投資活動によるキャッシュフロー	
	累 計
有価証券の増加(減少)額	0
有形固定資産の増加(減少)額	0
投資その他の資産の増加(減少)額	0
貸付金の増加(減少)額	0
その他投資活動による増減額	0
投資キャッシュフロー②	0
将来の利益獲得や資金運用のために支出または回収した資金を示します。	
フリー・キャッシュフロー ①+②	1,134

営業活動で得たキャッシュから事業維持のために投資しなくてはならない資金であり、会社が自由に使えるお金

III. 財務活動によるキャッシュフロー	
	累 計
短期借入金の増加(減少)額	0
長期借入金の増加額	0
長期借入金の返済額	0
株式の発行による収入	0
配当金の支払額	0
その他の財務活動による増減額	0
財務キャッシュフロー	0

営業活動や投資活動の維持のために調達または返済された資金を示します。フリーキャッシュフローで、長期借入金の返済ができているかを確認します。

IV. 現預金の増減額	
	累 計
IV 現金及び現金同等物の増加額	1,134
V 現金及び現金同等期首残高	24,273
VI 現金及び現金同等期末残高	25,407

【キャッシュフローに関するコメント】

- ① フリー・キャッシュフローは、1,134 千円で、プラスであり、かつ当期純利益以上の資金確保ができています。
- ② 当期の累計キャッシュフローは、1,134 千円で、増加しています。

① 収益改善

テーマ	取組み内容
人件費削減	人員の適正化
	諸手当の見直し
	給与体系の見直し
	役員報酬の見直し
固定費削減	広告宣伝費の削減（費用対効果の検討）
	接待交際費の管理
	出張頻度の見直し
	出張手当の見直し
	社用車のエコカーへの切り替え
	最安値ガソリンスタンドの活用
	コピーの削減（台数制限、承認制）
	制服の廃止
	携帯電話・固定電話の契約内容見直し
	LED照明への切り替え
	保険契約の見直し
	保守契約の見直し
委託費の見直し	
変動費縮減	仕入単価の交渉
	外注費の交渉
	外注の内製化

② 財務体質の改善

テーマ	取組み内容
売掛金適正化	長期滞留債権の早期回収
	回収サイトの交渉
	債権管理の徹底
	手形割引・ファクタリングの活用
在庫適正化	不良在庫の処分
	仕入の適正化
支払条件の変更	支払いサイトの交渉
	裏書手形の活用
資産売却	遊休資産の売却
	投資有価証券等の売却

③ その他

テーマ	取組み内容
借入金見直し	短期借入金の長期シフト
	返済条件の見直し
	制度融資の活用
	格付向上による金利交渉
その他	増資
	少人数私募債の発行

(決算仕訳を含む)

収益性分析

生産性分析

安全性分析

① 自己資本利益率は	33.4%	① 限界利益率は	-56.0%	① 流動比率は	234.1%
② 総資本経常利益率は	-2.1%	② 1人当たり売上高は	96千円	② 当座比率は	224.4%
③ 売上高営業利益率は	-76.1%	③ 1人当たり限界利益は	-54千円	③ 固定比率は	-253.7%
④ 売上高経常利益率は	-76.1%	④ 1人当たり人件費は	0千円	④ 固定長期適合率は	13.9%
⑤ 総資本回転率は	0.0回	⑤ 労働分配率は	-0.0%	⑤ 自己資本比率は	-3.3%

※上記指標は 経過月累計 で計算しています。

年間予測は、(経過月÷経過月数) × 12ヶ月で年間予測を計算しています。

収益性分析

収益性は企業が調達し、経営に投下した資本の運用効率を示す

総資本経常利益率によって総合的に評価されます。

またそれは売上高経常利益率（売上に対する営業活動によって得た利益の割合）と総資本回転率（経営に投下された資本を売上高によって回収した速度を示すもの）に分解できます。

業種選択	
累計／年計	経過月累計

(決算仕訳を含む) (単位：％、回)

業界平均値との比較

経営指標	前期実績	当期累計	標準値	判定
自己資本利益率	109%	384%		
総資本経常利益率	68%	-21%		
売上高営業利益率	96%	-761%		
売上高経常利益率	96%	-761%		
総資本回転率	07回	00回		

判定基準]

指標／点数	5	4	3	2	1
自己資本利益率	標準値の120%以上	標準値の105~119%	標準値の95~104%	標準値の81~94%	標準値の80%以下
総資本経常利益率	標準値の120%以上	標準値の105~119%	標準値の95~104%	標準値の81~94%	標準値の80%以下
売上高営業利益率	標準値の120%以上	標準値の105~119%	標準値の95~104%	標準値の81~94%	標準値の80%以下
売上高経常利益率	標準値の120%以上	標準値の105~119%	標準値の95~104%	標準値の81~94%	標準値の80%以下
総資本回転率	標準値の120%以上	標準値の105~119%	標準値の95~104%	標準値の81~94%	標準値の80%以下

収益性を見るために確認する指標

分析指標	算式	利用目的
自己資本利益率	$\frac{\text{当期純利益 (税引後)}}{\text{自己資本}}$	株主の持ち分である自己資本に対して、どれだけの利益を上げたかをみる
総資本経常利益率	$\frac{\text{経常利益}}{\text{総資本}}$	投下している資本に対して、どれだけの利益を上げたかをみる
売上高営業利益率	$\frac{\text{営業利益}}{\text{売上高}}$	粗利益から販売費および一般管理費を差し引いた「本業の儲け」の割合をみる
売上高経常利益率	$\frac{\text{経常利益}}{\text{売上高}}$	本業に係る企業活動全体から生み出される利益力をみる
総資本回転率	$\frac{\text{売上高}}{\text{総資本}}$	一年間で総資本の何倍の売上高をあげたかをみる

生産性分析

売上高の投入高に対する割合をいい、企業の経営分析の中で、収益性分析を捕捉するものです。

その特色は、収益性分析においては投入高を「資本」としていたのに対して、生産性分析ではこれを「人」または「もの」としている点です。生産性が向上すれば人件費や諸経費の増加を吸収することが出来ます。

業種選択	
累計／年計	経過月累計

(決算仕訳を含む) (単位：％、千円)

業界平均値との比較

経営指標	前期実績	当期累計	標準値	判定
1人当たり売上高	1,878千円	96千円		
1人当たり限界利益	1,339千円	-54千円		
1人当たり人件費	543千円	0千円		
限界利益率	71.3%	-56%		
労働分配率	40%	-00%		

[判定基準]

指標／点数	5	4	3	2	1
1人当たり売上高	標準値の120%以上	標準値の105~119%	標準値の95~104%	標準値の81~94%	標準値の80%以下
1人当たり限界利益	標準値の120%以上	標準値の105~119%	標準値の95~104%	標準値の81~94%	標準値の80%以下
1人当たり人件費	標準値の80%以下	標準値の81~94%	標準値の95~104%	標準値の105~119%	標準値の120%以上
限界利益率	標準値の120%以上	標準値の105~119%	標準値の95~104%	標準値の81~94%	標準値の80%以下
労働分配率	標準値の80%以下	標準値の81~94%	標準値の95~104%	標準値の105~119%	標準値の120%以上

生産性を見るために確認する指標

分析指標	算式	利用目的
1人当たり売上高	$\frac{\text{売上高}}{\text{社員数}}$	社員1人当たりの生産性をみる
1人当たり限界利益	$\frac{\text{限界利益}}{\text{社員数}}$	社員1人当たりの生産効率をみる
1人当たり人件費	$\frac{\text{人件費}}{\text{社員数}}$	社員1人当たりの人件費水準をみる
限界利益率	$\frac{\text{限界利益}}{\text{売上高}}$	売上高に対する原価効率をみる
労働分配率	$\frac{\text{人件費}}{\text{限界利益}}$	社員の生産効率に対する人件費のバランスをみる

安全性分析

バランスのとれた安定した経営が行われているかどうか、企業を取り巻く経営環境が変化しても耐えうる力がどの位あるかをみます。
企業の財政状態の良否、支払能力の程度を見ているものです。

業種選択

(決算仕訳を含む) (単位：%)

業界平均値との比較

経営指標	前期実績	当期累計	標準値	判定
流動比率	255.0%	234.1%		
当座比率	244.2%	224.4%		
固定比率	-704.5%	-253.7%		
固定長期適合率	134%	139%		
自己資本比率	-1.2%	-33%		

[判定基準]

指標/点数	5	4	3	2	1
流動比率	標準値の120%以上	標準値の105~119%	標準値の95~104%	標準値の81~94%	標準値の80%以下
当座比率	標準値の120%以上	標準値の105~119%	標準値の95~104%	標準値の81~94%	標準値の80%以下
固定比率	標準値の80%以下	標準値の81~94%	標準値の95~104%	標準値の105~119%	標準値の120%以上
固定長期適合率	標準値の80%以下	標準値の81~94%	標準値の95~104%	標準値の105~119%	標準値の120%以上
自己資本比率	標準値の120%以上	標準値の105~119%	標準値の95~104%	標準値の81~94%	標準値の80%以下

安全性を見るために確認する指標

分析指標	算式	利用目的
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	短期負債の支払をカバーできる 運転資金状態をみる
当座比率	$\frac{\text{当座資産}}{\text{流動負債}}$	短期的な負債に対する 直接支払能力をみる
固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資本}}$	自己資本に対する固定資産の 割合状況をみる
固定長期適合率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資本} + \text{固定負債}}$	固定資産に対する調達源泉が 適正かみる
自己資本比率	$\frac{\text{自己資本}}{\text{総資本}}$	投下資本に対する自己資本の 割合をみる